

# 粘土・色素複合エマルジョンを用いた 可逆性発色膜素材

企 業 / 振高合成 (株)

研究者 / 岩崎立夫 (京都工芸繊維大学客員教授)

粘土鉱物を混合したアクリルエマルジョンの塗布層に、カチオン系色素を吸着させた後、電子ビームや電流によりカチオン系色素の還元を促し、色調の変化を生じさせ、複合的な表示材料、表示素子を実現する。

- ・ 発色、変色が自在に出来、安定性の良いカチオン系色素の選定に至らなかった。
- ・ ポリマーマトリックス組合せ選択において目標機能を発揮する段階に至らず、コーティング技術の確立、装置の検討は機能上改善が必要である。
- ・ 1種の赤色色素が発色消色変化を示したが目標に対してはなお不十分である。